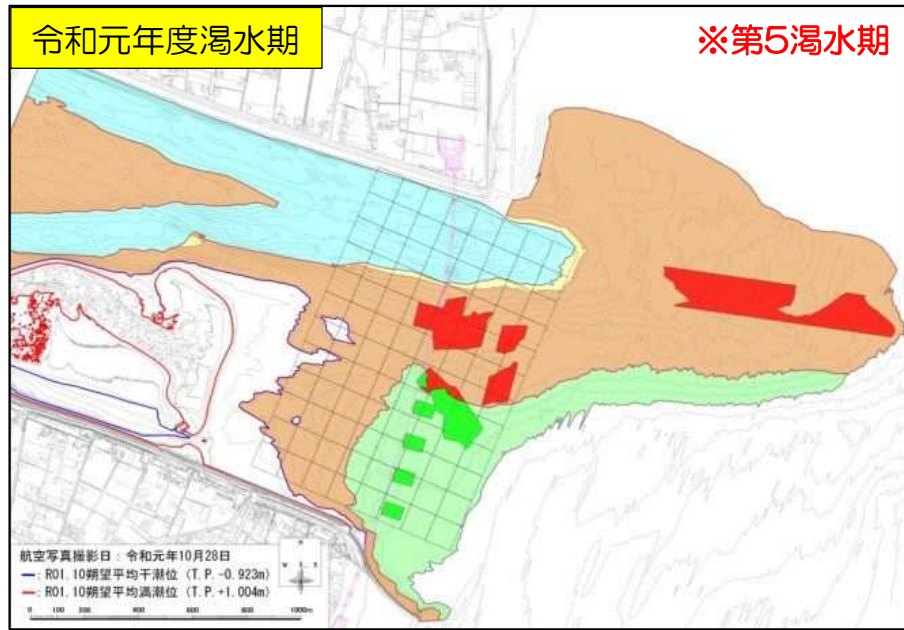


# ■ 浚渫の影響評価 ～区分1の指標種における影響値の比較～

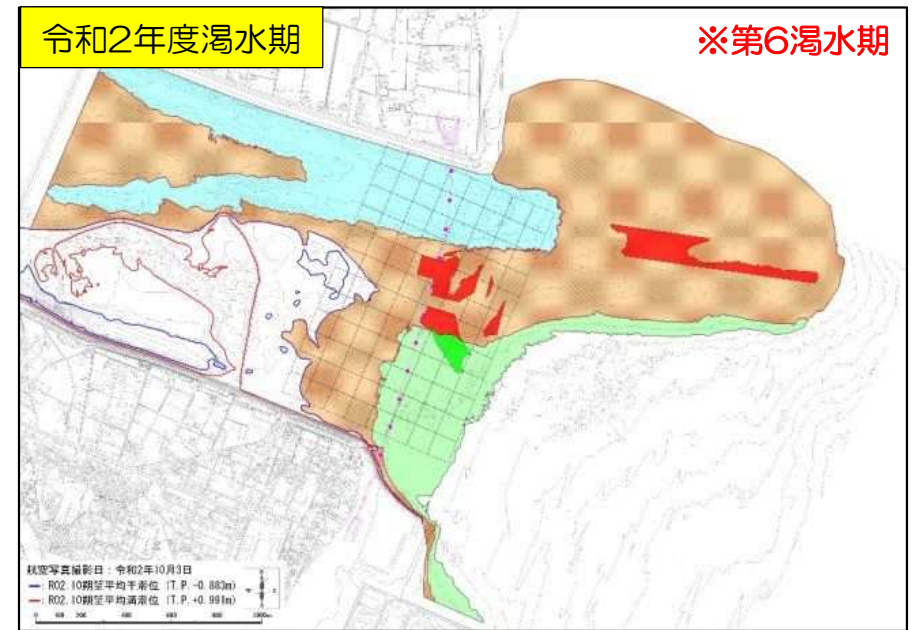


第12回検討会時に公表した浚渫の影響評価の値と比較すると、区分1の指標種において影響値は下がっていることが確認された。

## ■ 例：フジノハナガイの生息可能範囲（第12回検討会）



## ■ 例：フジノハナガイの生息可能範囲（第14回検討会）



項目	フジノハナガイ	バカガイ	ヒサシソコエビ科
	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
生息可能場面積	1,806,053	1,633,106	1,707,980
浚渫面積	153,259	153,259	153,259
浚渫の影響評価	8.5%	9.4%	9.0%

項目	フジノハナガイ	バカガイ	ヒサシソコエビ科
	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
生息可能場面積	2,084,804	2,064,140	2,050,133
浚渫面積	115,555	115,555	115,555
浚渫の影響評価	5.5%	5.6%	5.6%

影響値が減少

